

# 柳井の木阪賞文堂を選定

## 中国地域の歴史ある中小企業選

### 中国五県の創業100年以上の14社

柳井市白壁通りと中央三丁目文具小売業を営む老舗「(有)木阪賞文堂」(木阪泰之社長、従業員七人、資本金一千万円)が、創業百年以上で事業転換や高度化を図りながら実績を積み上げ、地域経済を支えてきたとして、中国経済産業局(広島市)から「中国地域

の歴史ある中小企業選」に選定された。二十日、同局総務企画部企画調査課の上寺弘課長が来社し、木阪社長に感謝状を手渡した。

今回初めて同局が行った企業選は、「創業百年以上(一九〇六年以前の創業)で、年間売上高一億円以上の法人格を

有する中小企業」「事業転換や業種内での高度化などを行っている」などの基準を設け、商工会議所や県からの推薦を受けた中国五県の四十二社を審査し、十四社を選定した。このうち、山口県からは三社が選定され、県東部では同社だけ。

木阪賞文堂は、一八九四年(明治二十七年)に白壁の町並み(現在の白壁本店)に創業。当時は筆硯、墨などを販売し、昭和に入ってから卸売も手掛けるようになった。

その後、環境問題への社会的な関心が高まる中、二〇〇三年(同十五年)に山口県内の文房具小売業で初めて環境ISO14001認証を取得し、環境対策に取り組んでいる。また、同社では、グリーン購入法適合商品を中心に環境に優しい商品のPR・販売を推進し、

「オフィスのエコチャレンジ応援団」をキャッチフレーズに環境対応商品の利用・購入時のアドバイザー兼パートナーとして商品の販売を行っている。取引先に回収箱を設置し、不要になった事務用品(文房具、トナーなど)の回収・分別・リサイクル・廃棄を行っている。

このほか、少量からの封筒、のし紙(伝票などのスピード軽印刷、オリジナルシールや個性的な名刺の制作など)にも取り組み、町の「つくれる文具屋さん」を目指して営業展開している。

社長の木阪泰之氏(44)は、初代の末吉氏、二代目の伝助氏、三代目の富一氏の跡を継いだ四代目。今回の選定は大変光栄なこと。売上げや社員数に捕らわれず、地元のお客様を大切に点から面にしていくことを重点に取り組んでいる。市況は厳しい中、

他店がやっていないことに挑戦し、企業理念である「全ての商品・サービスを通じて、お客様を幸せにすること」を心掛け、今後も分相応にコッコツと販売を行っていきたい」と喜びを語っていた。

選定企業は次の通り。

- ▼鳥取県(有)石野石材工業所(鳥取市)、(有)長田茶店(米子市)、(株)森下久平商店(鳥取市)、(有)豊田ガラス建材(倉吉市)
- ▼島根県(有)福観光光株(江津市)、山陰総業(有)(八束郡東出雲町)
- ▼岡山県(有)醬油株(倉敷市)、(株)クレスコ(岡山市)、(株)アイスライン(同)
- ▼広島県(株)森信建設株(広島市)、(株)文華堂(同)
- ▼山口県(有)古串屋下関市、永山酒造合名会社(山陽小野田市)、(有)木阪賞文堂(柳井市)

(写真は上寺課長から感謝状を受ける木阪社長(右))

就農支 杉田さ、 柳井市新 県総合技術 技術部花き (木村靖所 研修を受け 出身の杉田 の研修修了 同センター 最初に杉田 報告を行い、 に住んで、 て山口に、 が切花農産 家になる。 した。その なり仕事。 端の技術と の専門家に 良いだろ。 しました。 レー菊・キ アスター・ ウ・ストッ サなど、い を栽培させ した」と話 ったことや



### 44チームがタスキリレー

#### 第49回平生町駅伝競走大会

第四十九回平生町駅伝競走大会が十八日、平生中学校をスタート、佐賀小学校をゴールに、5区間(一部9区間)十四・九キロで健脚が競われた。町体育協会と町教委の主催。

大会には町内外から四十四チームが出場。中学男子、高校男女、一般1部



は5区間、小学男女、中学女子、一般2部、同女子は9区間でタスキリレーを展開した。

結果は次の通り。(上位)

- 3位のみ、敬称略
- ◎小学生男子①平生小
- カプトガニーズ②佐賀小
- A③平生小ウインドミルズ
- ◎小学生女子①平生小
- ヤツチャレ50②佐賀小
- ◎中学生男子①陸上部
- ◎一般1部①柳井地区

- 長距離A②同B③3年選
- 択II
- ◎中学生女子①バスケ
- A②バレー部A③同B
- ◎高校生男子①熊南高
- 陸上
- ◎高校生女子①熊南高
- 陸上②YUNAN SIT
- CA③同B

- ▼女子5年
- ③吉中愛
- ▼男子4年
- ク③山下貴
- ▼女子4年

- 県体バドミントン
- スポーツ少年団の部
- 平成十九年度山口県体
- 育大会バドミントン競技